

市民用

平成 20 年度

「食と緑のマイスター育成講座」

受講案内および受講申込書

◆食と緑のマイスター育成講座 年間予定表	1
1. 「食と緑のマイスター育成講座」がめざすもの	2
2. 講座の概要	2
3. 受講のしかた	3
4. 講義	3
5. 実習	3
6. 課題別学習	4
7. 受講の決定	4
8. 講座の修了	4
9. 受講生の身分	4
10. 筑波大学への交通	4
◆筑波大学関連施設マップ	5
◆「食と緑のマイスター講座」3つの実習内容	7
◆平成 20 年度学年歴	11
◆受講申込書	12

事務局連絡先

〒305-8572 つくば市天王台 1-1-1

筑波大学生命環境学群生物資源学類事務室

Tel: 029-853-6031 Fax:029-853-6031

E-mail: ggps@sakura.cc.tsukuba.ac.jp

<http://www.geijutsu.tsukuba.ac.jp/~gendaigp/>

平成 20 年 1 月 25 日

筑波大学生物資源学類



食と緑のマイスター育成講座 年間予定表

月日	行事	講義	実習		
			1)雑穀	2)フューチャー ダイニング	3)森のはたらきと木 づかい
4月	19日(土)	開講式 (10:00)	○	○	○
5月	10日(土)		○	○	○
6月	14日(土)		○	○	○
7月	5日(土)				○
	12日(土)		○	○	
	未定				○
8月	未定				○
9月	13日(土)		○	○	
10月	11日(土)	学園祭	○	○	○
11月	8日(土)		○	○	
12月	13日(土)		○	○	
2009年 1月	10日(土)		○	○	
2月	未定	発表会			

10月11日～13日 学園祭
10月18日～19日 全学停電

1. 「食と緑のマイスター育成講座」がめざすもの

「マイスター育成講座」は、地域社会で自律的に行動する市民の育成を目的として、筑波大学がつくば市と連携して実施する社会貢献プロジェクトです。

現在、平成の大合併と呼ばれる市町村合併が急速に進んでいます。そのさきがけとなったのがつくば市でした。その後つくば市は、茨城県南の中核的な都市に成長するとともに、研究学園地区を中心とした一体感が育ちつつあります。しかし、より暮らしやすい「まち」にするためには、市民が一層積極的に参加する「まちづくり」が望まれます。

こうした「まちづくり」に必要なのは、生活・産業・環境等の分野で正しい知識と専門的な技術を身につけ、それらを主体的に地域社会に活かせる人材の育成です。この人材育成に筑波大学が貢献するため、つくば市やNPOなどの市民団体とも協力して、市民向けの講座を開設します。これが「マイスター育成講座」であり、中心となるのは農学と芸術に関係する学群・学類です。

このうち農学教育を実施する生物資源学類が、食および環境の分野で自律的市民を育成するプログラムが「食と緑のマイスター育成講座」です。受講生(市民)が、①講義、②実習、③課題別学習を履修することで、食や環境に関する専門的知識や技能を習得し、市民活動におけるリーダー的能力を身につけることを目的としています。対象はつくば市民とつくば市に勤務の方とします。定員に余裕がある場合はつくば市外の方にも受講していただけます。受講料は無料です。

筑波大学の学生は、運営スタッフとして参加します。学生には市民の皆さまとの触れ合いを通して、豊かな感性と確かな社会貢献マインドを持つことを期待しています。

2. 講座の概要

◇開講式 4月19日(土) 10:00~12:00

大学院生命環境科学研究科・総合研究棟A110

①講義 5月10日(土)~11月8日(土) 合計6回/総合研究棟A110

②実習 7ページからの「食と緑のマイスター講座」3つの実習内容を参照

③課題別学習 1年を通じて実施

◇修了式 平成20年度発表会(平成20年2月)

講座は、①講義、②実習、③課題別学習から成り立っています。

①講義はすべての受講生に聴講していただきたい「食と緑」に関する幅広い問題を提示します。講義内容は現在の食や環境に関する包括的な課題であり、リーダー的市民はこのよう幅広い知見を有することが必要になります。

②実習は、3コースを用意しました(詳細は7ページから)。受講生は各コースから1つを選択して下さい。各コースの定員はそれぞれのコースごとに決まっています。選択した実習コースが受講生の所属するコースとなり、1人の受講生に1人の教員が③課題別学習を指導します。開講の日程や場所は各コース別の紹介をご覧ください。

③課題別学習は、受講生が考えたい、身につけたい課題に対して、担当教員が個別に指

導し、受講生自身が研究を進める学習です。小さな卒業研究と考えていただいでよいでしょう。指導の日程と場所は受講生が担当教員と相談して決定します。全ての科目において、スタッフの学生が学習のサポートをします。

3. 受講のしかた

コースを選択し、14ページの申込書に基づいて2月28日(水)までに申し込んで下さい。

- ①講義は、全てを聴講していただきます。
- ②実習は、3コースの中から選択した1コースに出席して下さい。
- ③課題別学習は、各受講生(市民)が考察したい課題について、1年をかけて担当教員・サポートの学生と協力して学習を進め、レポートをまとめて下さい。

4. 講義

場所は全て大学院生命環境科学研究科・総合研究棟A110です。

講義の開講日程・内容・講師は以下のとおりです。

講義；5月から第2土曜日午前中、計6回（各コース2回ずつ）

5月10日(土)・・・ソバという植物、そばという作物、蕎麦という食物、 林 久喜

6月14日(土)・・・植物成分と健康、繁森英幸

7月12日(土)・・・木材の性質と高度利用技術 小幡谷英一

9月13日(土)・・・日本の食糧、遺伝資源利用から遺伝子組換え作物まで 大澤 良

10月11日(土)・・・美味しさの系譜一食に歴史あり、吉田滋樹

11月8日(土)・・・世界の森林・林業・環境問題、餅田治之

注) 講義の開催日時、内容の変更がある場合には、事前に連絡いたします。

5. 実習（詳細は7ページから）

以下の3コースから1コースを選択してください。

- ①雑穀を用いた食育（4月～2009年1月）
- ②フューチャーダイニング～安全・安心な食卓づくり～（5月～2009年1月）
- ④森のはたらきと木づかい（5月～2008年9月）

6. 課題別学習

まちづくりの活動において、選択した実習コースに関連して考えておきたい課題、解決したい課題、身につけたい課題を、受講生に用意していただきます。受講生はそれを担当教員と相談して学習可能なテーマに絞り、教員がマンツーマンで指導します。小さな卒業研究と考えて下さい。課題別学習の担当教員は、テーマに則した生物資源学類の教員が当たります。

指導の日程と場所は、受講生が担当教員と相談して決定します。

7. 受講の決定

事務局では、3月7日(金)に申し込みを締め切ります。この申込書をもとに、つくば

市との関わりや受講目的・希望コースを勘案し、必要に応じて面談して、受講者を決定します。その上で、3月下旬までに通知します。

8. 講座の修了

講座の修了要件は、講義・実習へ6割以上出席し、課題別学習の成果を発表することです。これを満たした受講生には年度末に修了証を発行します。

9. 受講生の身分

- ①受講生には受講証明書が発行されます。随時携帯して下さい。
- ②筑波大学の図書館の利用が可能となります。

10. 筑波大学への交通

大学に来るには、つくばセンターと筑波大学とを結ぶ循環バスの利用が便利です。循環バスは「右回り」、「左まわり」のいずれを利用してもよいです。

講座受講などのため自家用車で大学に来る際には、大学本部棟前の中央案内センターに立ち寄って駐車申請を行い、無料パスカードを受け取り、所定の駐車場に車を止めて下さい。夜間・休日の場合は大学本部棟の警備員にお申し出下さい。農林技術センターに来る際は、外来者駐車場に駐車して下さい。

筑波大学関連施設マップ



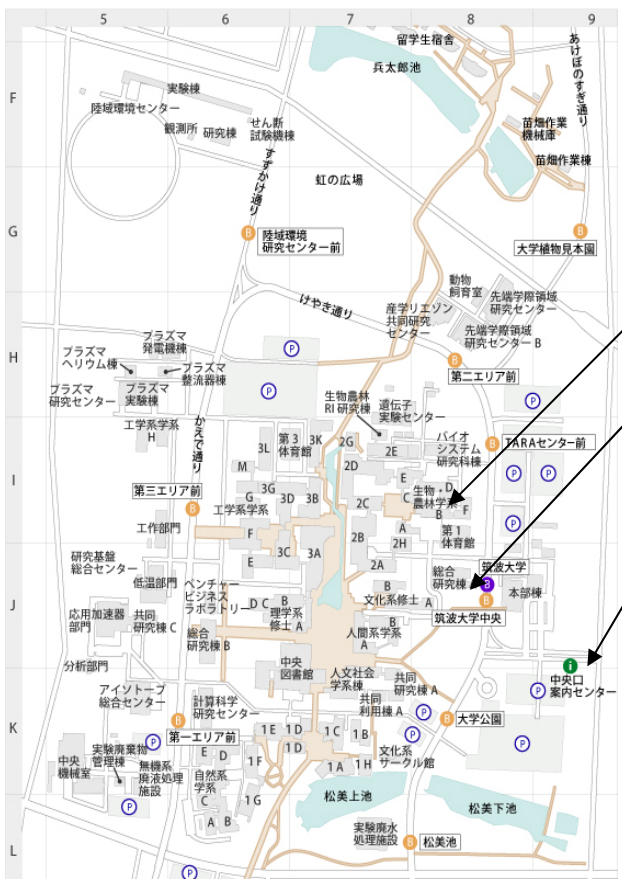
キャンパスマップ 北地区



農林技術センター
 最寄のバス停留所は「農林技術センター」です。
 車は本館裏の駐車場に駐めてください。

農林技術センター筑波実験林
 最寄のバス停留所は「大学植物見本園」です。
 車は筑波実験林内の駐車場に駐めてください。

キャンパスマップ 中地区



生物農林学系棟
 総合研究棟 A
 いずれも最寄のバス停留所は「筑波大学中央」です。

中央口案内センター
 本部棟南地区駐車場

平日に車で生命環境学群棟、生物農林学系棟へいらっしゃる方は中央口案内センターで臨時入構申請用紙に氏名等を記入して下さい。
 本部棟南地区ゲート設置駐車場が利用できます。
http://www.tsukuba.ac.jp/map/map_flat/name_index.html

1 雑穀を用いた食育

目的：初等教育や社会教育における食育に雑穀を活用することを想定して、雑穀を栽培して食べるまでの過程を学習し、食育の展開方向を模索しながら、雑穀を用いた食育を実践できる人を育成する。

タイトル・開講日程・開催場所／担当者

【第1回】雑穀の話、課題別学習の設定

日時：2007年4月**日(土)13:00～15:00(開講式の日実施) 開催場所：F507／担当者：林 久喜、大澤 良

【第2回】畑づくり・種まき

日時：2007年5月10日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

【第3回】管理作業1

日時：2007年6月14日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

【第4回】管理作業2

日時：2007年7月12日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

【第5回】雑穀の多様性と収穫

日時：2007年9月13日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

【第6回】調製

日時：2007年10月11日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

【第7回】雑穀を食べる

日時：2007年11月8日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

【第8回】課題別学習とりまとめ1

日時：2007年12月13日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

【第9回】課題別学習とりまとめ2

日時：2008年1月10日(土)13:00～16:00 開催場所：農林技術センター／担当者：林 久喜、大澤 良

受け入れ可能市民数：6人

受け入れ可能学生数：6人

フューチャーダイニング～安全・安心な食卓づくり

目的：食の安全・安心は、生産現場から食卓に至るまで食材の衛生的な取り扱いが保証され、またその情報が消費者まで正確に伝達されることで初めて実現されます。本コースでは、「食」に関する素材・流通・加工を体験・実習しながら、食の安全性や衛生管理についての科学的理解を深めるとともに、近年急速な発展を遂げる IT 情報システムを活用した食のリスク分析能力を涵養し、安全で安心な未来型食生活を築ける人を育成します。

タイトル・開講日程・開催場所／担当者

【第 1 回】保存・調理方法によるビタミン C の変動

日時：2007 年 5 月 10 日(土) 13:00～17:00 開催場所：第二学群棟 2B301／担当者：吉田滋樹

【第 2 回】植物色素の抽出と分析

日時：2007 年 6 月 14 日(土) 13:00～16:30 開催場所：第二学群棟 2B301／担当者：繁森英幸

【第 3 回】食品中の合成着色料の検出

日時：2007 年 7 月 12 日(土)13:00～17:00 開催場所：第二学群棟 2B301／担当者：吉田滋樹

【第 4 回】安全と安心の乳製品加工の実践

日時：2007 年 9 月 13 日(土) 14:00～17:00 開催場所：農林技術センター／担当者：北村 豊

【第 5 回】IT を活用した食の安心情報の収集と公開

日時：2007 年 11 月 8 日(土) 14:00～17:00 開催場所：バイオシステム研究科棟／担当者：北村 豊

【第 6 回】課題別学習相談 1

日時：2007 年 12 月 13 日(土)13:00～16:00 開催場所：生物農林学系棟／担当者：北村 豊、繁森英幸、吉田滋樹

【第 7 回】課題別学習相談 2

日時：2008 年 1 月 10 日(土)13:00～16:00 開催場所：生物農林学系棟／担当者：北村 豊、繁森英幸、吉田滋樹

受け入れ可能市民数：6 人

受け入れ可能学生数：6 人

森のはたらきと木づかい

目的：森林が持つ自然としての機能、社会的な意義などについて、林業や環境といった様々な観点から森林を捉えることができる人材を育成します。また、特に「木」を取り上げ、日本における木材利用の歴史や、木材の持つ優れた性質、最先端の木材加工技術について学びます。木材の性質を最大限に活かし、木製品を無駄なく、幅広く、永く使うための「木づかい」の素養を身につけた人を育成します。

【第1回】講義「ビデオでみる森林の機能と管理」

ビデオを利用して、森林が持つ各種機能を考えるとともに、林業における森林管理の方法を概観します。

日時：平成20年4月19日（土）13：00～15：00 開催場所：生物農林学系棟 F506／担当者：餅田治之

【第2回】実習「木材の形状記憶能を活かした木製品の製作」

木材の形状記憶能について学んだ上で、それを活かした木製品を製作します。例：瓶に入ったまま出てこない合格祈願の絵馬、ハートに刺さったまま抜けないキューピットの矢など。

日時：平成20年5月10日（土）13：00～17：00 開催場所：生物農林学系棟 E105／担当者：小幡谷英一

【第3回】実習「電子レンジを用いた曲げ木製品の製作」

木材の粘弾性、水による可塑化などについて学んだ上で、曲げ木製品を製作します。

例：スギの曲げ木で作った酒器など。

日時：平成20年6月14日（土）13：00～17：00 13：00～17：00 開催場所：生物農林学系棟 E105／担当者：小幡谷英一

【第4回】実習「つくば大学内の森林植生」

筑波大学内にある樹木を対象として、それぞれの樹木の特徴を説明しながら採取し、参加者オリジナルの樹木標本を製作します。

日時：平成20年7月5日（土）10：00～13：00 開催場所：筑波大学構内 集合場所：つくば実験林管理棟前／担当者：中村 徹

【第5回】実習「炭焼き体験実習」

筑波大学農林技術センター実験林において、竹を材料とした炭焼きを体験します。竹の採取、炭窯のアレンジ、製炭。

日時：平成20年7月（詳細日程未定）開催場所：筑波大学構内 集合場所：つくば実験林管理棟前／担当者：餅田治之・遠藤好和

【第6回】実習「八ヶ岳演習林の見学」

筑波大学農林技術センター八ヶ岳演習林に行き、広葉樹の森、針葉樹の人工林を見学し、説明を受けます。

日時：平成20年8月（詳細日程未定、1泊2日）開催場所：筑波大学八ヶ岳演習林 集合場所：JR小海線野辺山駅／担当者：清野達之・門脇正史・餅田治之

受け入れ可能市民数：6人

受け入れ可能学生数：6人

平成 20 年度学年暦

第1学期 (4月1日～7月31日)	
事項	学群
学年開始	4月1日(火)
春季休業	4月1日(火)～7日(月)
第1学期授業開始	4月11日(金)
第1学期授業終了	6月24日(火)
夏季休業	7月2日(水)～31日(木)
第1学期末卒業式	7月25日(金)
第2学期 (8月1日～11月30日)	
事項	学群
夏季休業	8月1日(金)～31日(日)
第2学期入学式	8月8日(金)
教職員一斉休業	8月14日(木)～15日(金)
第2学期授業開始	9月1日(月)
開学記念日 (※備考2)	10月1日(水)
学園祭 (※備考3)	10月11日(土)～13日(月)
筑波キャンパス電気設備点検(全学停電)	10月18日(土)～19日(日)
第2学期授業終了	11月18日(火)
秋季休業	11月26日(水)～30日(日)
第3学期 (12月1日～3月31日)	
事項	学群
第3学期授業開始	12月1日(月)
冬季休業	12月27日(土)～1月6日(火)
第3学期授業終了	2月27日(金)
春季休業	3月7日(土)～31日(火)
卒業式	3月25日(水)
学年終了	3月31日(火)

市民用

現代 GP 平成 19 年度
食と緑のマイスター育成講座受講申込書
(受講募集期間：2008 年 1 月 25 日～3 月 7 日)

以下の記入事項を E-mail で送付して下さい。E-mail が使用できない方は、本ページを切り離して必要事項を記入し、Fax または郵便で現代 GP 事務局まで(表紙参照)お送り下さい。

E-mail: ggps@sakura.cc.tsukuba.ac.jp Fax: 029-853-6031

氏名： (ふりがな：)
住所：〒

Tel :
Fax :
E-mail :
職業 :

希望するコース (2 つまで順位をつけて選択して下さい)

希望順位

- 1) 雑穀を用いた食育
- 2) フューチャーダイニング～安全・安心な食卓づくり～
- 3) 森のはたらきと木づかい

受講目的(本講座の受講に際し、具体的に解決したい課題をお持ちの方は記入して下さい。具体的課題をお持ちでない方は、参加理由をお書き下さい)

学生用

平成 20 年度

「食と緑のインターンシップ」

受講案内および受講申込書

1. 「食と緑のインターンシップ」がめざすもの	13
2. インターンシップの概要	13
3. 履修のしかた	13
4. 講義	13
5. 実習	14
6. 課題別学習	14
7. 単位認定	14
◆受講申込書	15

Tel: 029-853-6031

<http://www.bres.tsukuba.ac.jp/>

1. 「食と緑のインターンシップ」がめざすもの

「食と緑のインターンシップ」は筑波大学生物資源学類がつくば市民を対象に開講する「食と緑のマイスター育成講座」と対になる科目です。

「マイスター育成講座」は、受講する市民が①講義、②実習、③課題別学習を履修することで、食や環境に関する専門的知識や技能を習得し、市民活動におけるリーダー的能力を身につけることを目的としています。

生物資源学類の学生は、この講座の運営スタッフとして参加し、受講する市民をサポートします。学生には市民との触れ合いを通して、豊かな感性と確かな社会貢献マインドを持つとともに、卒業研究課題の明確化や研究意義の発見を期待しています。

2. インターンシップの概要

学生は「食と緑のインターンシップ」で、市民が受講する「食と緑のマイスター育成講座」の企画・実行に運営スタッフとして直接参加します。「食と緑のマイスター育成講座」を受講する市民が履修する上で、学生はチューターとしての役割を担います。

「食と緑のマイスター育成講座」において、「講義」は食と緑に関連した現状や現代の課題について扱い、講義の後にはそこで扱った課題について学生が受講市民と一緒に検討する演習が実施されます。「実習」は1)雑穀、2)フューチャー・ダイニング、3)森のはたらきと木づかいの計3コースがあり、インターンシップ受講学生はこのうちの1コースを担当します。受講市民はこの講座を通して解決したい課題や研究テーマを受講前に設定し、講座修了時にとりまとめる「課題別学習」に取り組みます。学生は担当する市民が「課題別学習」を円滑に進められるように、文献情報の検索や整理に関して指導するほか、受講市民の調査研究を支援します。

3. 履修のしかた

希望コースを選び、申し込んで下さい。市民へのサポートが主要な授業ですから、学生の所属するコースは、市民とペアになるよう、希望を勘案して担当教員が決定します。

①講義は、すべての回に必ず出席し、議論に参加して下さい。

②実習は、決定したコースのものに参加し、担当教員と相談してその運営に携わります。

③課題別学習は、市民が考察したい課題について、1年をかけて担当教員とともにサポートします。そこで得られた成果をレポートにまとめて下さい。

4. 講義

場所は全て大学院生命環境科学研究科・総合研究棟A110です。

講義の開講日程・内容・講師は以下のとおりです。

講義；5月から第2土曜日午前中、計6回（各コース2回ずつ）

5月10日(土)・・・ソバという植物、そばという作物、蕎麦という食物、 林久喜

6月14日(土)・・・植物成分と健康、繁森英幸

7月12日(土)・・・木材の性質と高度利用技術 小幡谷英一

9月13日(土)・・・日本の食糧、遺伝資源利用から遺伝子組換え作物まで 大澤 良

10月11日(土)・・・美味しさの系譜—食に歴史あり、吉田滋樹

11月8日(土)・・・世界の森林・林業・環境問題、餅田治之

注) 講義の開催日時、内容の変更がある場合には、事前に連絡いたします。

5. 実習（詳細は7ページから）

以下の3コースから1コースを選択してください。

- ①雑穀を用いた食育（4月～2009年1月）
- ②フューチャーダイニング～安全・安心な食卓づくり～（5月～2009年1月）
- ④森のはたらきと木づかい（5月～2008年9月）

6. 課題別学習

受講市民は「食と緑のマイスター育成講座」受講に際し、考えておきたい課題、解決したい課題、身につけたい課題を携えてきます。市民はそれを担当教員と相談して学習可能なテーマに絞り、教員がマンツーマンで指導します。学生は担当教員と相談して市民をサポートします。

7. 単位認定

- ・講義については、すべての回に出席し、議論に参加して下さい。
 - ・実習は、6割以上に出席して下さい。
 - ・インターンシップ修了前に以下の2種類の自己評価書を学類事務室に提出して下さい。提出期限については追って連絡します。
以下の2つをもとに、A～Dで評価します。
- ①講義・実習・課題別学習に対する参加状況
 - ②2種類の自己評価書（自己評価書1に対する市民からの返書も参考にします）

■自己評価書1（市民に対する公開書簡）A4 1枚

自己評価書1（市民に対する公開書簡）の書き方：以下の内容を盛り込み、対応した市民宛の書簡としてきちんとした手紙文で作成します。自己評価書1に記載する内容；参加した動機、市民に対応した感想、市民に対し自分の対応に関する感想・意見を記した返書の作成依頼。

■自己評価書2（教員に対するレポート）A4 1枚

これには以下のすべての内容について記入します。自己評価書2に記載する内容；参加動機・目的、市民へのサポート内容、市民へのサポートに対する自己評価、市民への要望、教員への要望、インターンシップ・プログラムへの意見

なお、これらの自己評価書およびその返書は単位認定の評価に使用するため、担当教員も読み、更にプライバシーに配慮した上で一部修正して公表資料として使用します。

学生用

現代 GP 平成 20 年度
「食と緑のインターンシップ」受講申込書

本申込書に必要事項を記入して、生物資源学類事務室に提出して下さい。
受講募集期間は以下の通りです。

受講募集期間：2008 年 1 月 25 日～3 月 7 日

学籍番号： _____ 学年 _____ クラス _____
氏名： _____ (ふりがな： _____)
住所：〒 _____

Tel： _____

E-mail： _____

希望するコース（1～3まで順位をつけて選択して下さい）

希望順位

- 1) 雑穀を用いた食育
- 2) フューチャーダイニング～安全・安心な食卓づくり～
- 3) 森のはたらきと木づかい

受講動機：(なるべく詳しく記入してください。)